



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 ホシデン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6804 URL <https://www.hosiden.com/index.html>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士  
問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 谷 忠道 TEL 072-993-1010  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	375,018	108.6	16,749	53.6	21,069	74.3	14,230	67.5
2025年3月期第3四半期	179,764	1.3	10,907	△2.9	12,085	△21.3	8,494	△19.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 13,621百万円( 68.4%) 2025年3月期第3四半期 8,086百万円( △40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	281.44	262.24
2025年3月期第3四半期	164.14	153.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	217,911	146,447	67.2
2025年3月期	200,279	140,317	70.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 146,447百万円 2025年3月期 140,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	19.00	—	40.00	59.00
2026年3月期	—	25.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末配当につきましては、配当性向30%として通期実績をもとに算定するため、現時点では業績予想の修正を考慮せず、期初開示予想を据え置きとしております。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	77.7	19,000	40.0	22,000	48.9	14,500	44.5	288.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想における為替レートは、1米ドル150円を前提としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	60,164,784株	2025年3月期	60,164,784株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	10,931,748株	2025年3月期	9,277,041株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	50,562,828株	2025年3月期3Q	51,750,558株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月～2025年12月)の世界経済は、米国では関税による物価上昇や雇用鈍化があったものの、AI関連投資や個人消費の伸びにより成長が加速しました。欧州は、製造業の伸びが鈍化しつつあるものの、財政拡張により内需が下支えされました。中国は、不動産市況の低迷を背景とした内需の弱さから減速が継続しました。日本は、輸出の伸び悩みが見られた一方、賃上げの継続や物価動向の安定化を受け、個人消費は緩やかに回復しました。

当社グループの属する電子部品業界におきまして、自動車関連市場につきましては、世界的な電動化やADAS対応の進展により、車載向け電子部品需要は底堅く推移しました。また、移動体通信関連市場につきましては、中国市場での減速があったものの、その他地域で伸長し全体としては緩やかな伸びとなっています。

このような状況の下で、当社グループでは、移動体通信関連向け売上が減少したものの、アミューズメント関連向けが大幅に増加し、自動車関連向けも増加したことにより、全体での売上は増加となりました。

利益面につきましては、アミューズメント関連向け売上高の大幅な増加に加え、当第3四半期連結会計期間末では、前年同期に発生があった為替差益262百万円が、当期は3,421百万円となり、経常利益は前年同期を大きく上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は375,018百万円(前年同期比108.6%増)、営業利益は16,749百万円(前年同期比53.6%増)、経常利益は為替相場変動に伴う為替差益3,421百万円を計上し、21,069百万円(前年同期比74.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,230百万円(前年同期比67.5%増)となりました。

報告セグメントの売上高及びセグメント利益の状況は、次のとおりであります。

機構部品につきましては、移動体通信関連向けは減少しましたが、アミューズメント関連向け及び自動車関連向けが増加したことにより、売上高は348,757百万円(前年同期比128.4%増)、セグメント利益は14,622百万円(前年同期比74.5%増)となりました。

音響部品につきましては、自動車関連向けが減少したことにより、売上高は14,817百万円(前年同期比7.0%減)、セグメント利益は1,381百万円(前年同期比16.8%減)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが減少しましたが、アミューズメント関連向けが増加したことにより、売上高は11,443百万円(前年同期比2.5%増)となったものの、セグメント利益は744百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

(注) 当社グループの業績管理区分の一部変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントの区分として従来の「表示部品」を「複合部品その他」に含めて表示しております。また、当該変更に伴って一部製品のセグメント区分を見直しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産が減少したものの、現金及び預金、売上債権及び有価証券の増加等により前連結会計年度末比17,631百万円増の217,911百万円となりました。また、負債につきましては、仕入債務及び未払法人税等の増加等により前連結会計年度末比11,501百万円増の71,464百万円となりました。

なお、純資産は、自己株式及び利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比6,129百万円増の146,447百万円となり、自己資本比率は67.2%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比9,389百万円増の56,158百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、22,052百万円となりました。これは主に、税

金等調整前四半期純利益20,276百万円、売上債権の増加19,153百万円、棚卸資産の減少12,278百万円、仕入債務の増加7,936百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、3,451百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出11,505百万円、定期預金の払戻による収入9,195百万円、有形固定資産の取得による支出4,848百万円、長期性預金の払戻による収入3,500百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、8,616百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済1,050百万円、自己株式の取得による支出4,200百万円、配当金の支払3,307百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月7日の「2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信」で公表いたしました通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の実績等を反映して、以下のとおり修正いたします。

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 440,000	百万円 16,000	百万円 18,000	百万円 12,000	円 銭 235.79
今回修正予想（B）	440,000	19,000	22,000	14,500	288.67
増減額（B－A）	－	3,000	4,000	2,500	－
増減率（％）	－	18.8	22.2	20.8	－
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	247,571	13,573	14,776	10,037	194.76

前提とする為替レートにつきましては、従来どおり1米ドル150円を前提としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,564	62,326
受取手形	3	—
売掛金	31,918	51,265
電子記録債権	1,220	1,024
有価証券	—	6,296
商品及び製品	8,220	7,443
仕掛品	3,207	2,596
原材料及び貯蔵品	61,897	51,111
その他	5,667	5,537
貸倒引当金	△182	△195
流動資産合計	171,516	187,407
固定資産		
有形固定資産	19,602	20,919
無形固定資産	508	502
投資その他の資産		
投資有価証券	7,228	7,483
退職給付に係る資産	—	220
その他	1,678	1,633
貸倒引当金	△254	△254
投資その他の資産合計	8,652	9,081
固定資産合計	28,763	30,503
資産合計	200,279	217,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,092	41,861
電子記録債務	1,546	1,787
短期借入金	1,050	—
未払法人税等	2,127	5,164
関係会社整理損失引当金	—	803
その他	6,421	6,538
流動負債合計	45,236	56,155
固定負債		
新株予約権付社債	10,190	10,169
退職給付に係る負債	1,497	1,374
その他	3,037	3,764
固定負債合計	14,725	15,308
負債合計	59,962	71,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,603
利益剰余金	112,257	123,179
自己株式	△12,393	△16,584
株主資本合計	133,120	139,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,464	4,278
為替換算調整勘定	2,922	1,741
退職給付に係る調整累計額	809	567
その他の包括利益累計額合計	7,196	6,587
純資産合計	140,317	146,447
負債純資産合計	200,279	217,911

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	179,764	375,018
売上原価	161,924	350,943
売上総利益	17,840	24,075
販売費及び一般管理費	6,933	7,326
営業利益	10,907	16,749
営業外収益		
受取利息	737	666
受取配当金	151	178
為替差益	262	3,421
その他	98	92
営業外収益合計	1,250	4,358
営業外費用		
支払利息	25	25
社債発行費	40	—
その他	6	11
営業外費用合計	72	37
経常利益	12,085	21,069
特別利益		
固定資産売却益	4	6
子会社清算益	—	5
その他	1	—
特別利益合計	5	11
特別損失		
固定資産除売却損	6	10
関係会社整理損失引当金繰入額	—	794
その他	0	—
特別損失合計	7	805
税金等調整前四半期純利益	12,083	20,276
法人税、住民税及び事業税	2,967	5,881
法人税等調整額	621	164
法人税等合計	3,589	6,046
四半期純利益	8,494	14,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,494	14,230



四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	8,494	14,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	813
為替換算調整勘定	△464	△1,180
退職給付に係る調整額	△164	△241
その他の包括利益合計	△407	△608
四半期包括利益	8,086	13,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,086	13,621
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,083	20,276
減価償却費	2,379	3,444
子会社清算損益 (△は益)	—	△5
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	794
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,512	△19,153
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26,634	12,278
営業未収入金の増減額 (△は増加)	210	248
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,576	7,936
その他	△3,247	△1,612
小計	△1,144	24,206
利息及び配当金の受取額	862	756
利息の支払額	△23	△23
法人税等の支払額	△5,572	△2,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,877	22,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,604	△11,505
定期預金の払戻による収入	11,050	9,195
長期性預金の払戻による収入	—	3,500
有形固定資産の取得による支出	△4,630	△4,848
投資有価証券の償還による収入	—	300
その他	△23	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,208	△3,451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△1,050
新株予約権付社債の償還による支出	△9,085	—
新株予約権付社債の発行による収入	10,159	—
自己株式の取得による支出	△3,000	△4,200
配当金の支払額	△3,264	△3,307
その他	△77	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,268	△8,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	△696	△596
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,050	9,389
現金及び現金同等物の期首残高	76,662	46,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,611	56,158

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年11月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,662,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4,199百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が16,584百万円となっております。

(追加情報)

(連結子会社の売却)

当社は中間連結会計期間において、当社の連結子会社である東莞橋頭中星電器有限公司の清算を決定しましたが、2026年3月を目途とした営業終了後、全持分を東莞市福祥市場營銷策画有限公司に売却することに変更することを決定し、2025年12月31日付で持分譲渡契約を締結しました。

1. 取引の概要

(1) 株式売却をする理由

当社はグローバル体制のさらなる強化に向け、生産拠点の最適化とサプライチェーンの多元化を進めております。この方針のもと、生産・物流の両面で優位性を持つ東南アジア地域への投資を強化してまいりました。こうした体制移行の進展により、中国拠点の生産機能の一部は既に東南アジアへ移管しており、今後はグループ全体の事業効率化の観点から、中国での生産体制を段階的に再編してまいります。この度、その一環として東莞橋頭中星電器有限公司を整理の上、株式を売却することとしました。

(2) 売却する相手先の名称

東莞市福祥市場營銷策画有限公司

(3) 売却の時期

2026年5月31日(予定)

(4) 当該子会社の概要

①名称 東莞橋頭中星電器有限公司

②事業内容 機構部品の製造

2. 売却価額及び損益に与える影響

売却価額は2,500万元であり、売却損益は現在算定中です。なお、本件に伴い当第3四半期連結累計期間において、従業員に対する経済補償金等の整理にかかる支払予定額を関係会社整理損失引当金繰入額770百万円として特別損失に計上しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年11月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の消却を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、株主還元及び資本効率の向上をはかるため、自己株式の消却を行うものであります。

2. 自己株式の消却に係る事項の内容

- (1) 消却する株式の種類 当社普通株式
- (2) 消却する株式の総数 1,662,200株  
(消却前の発行済株式総数に対する割合 2.76%)
- (3) 消却予定日 2026年2月27日

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	機構部品	音響部品	複合部品 その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	152,671	15,926	11,166	179,764	—	179,764
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	152,671	15,926	11,166	179,764	—	179,764
セグメント利益	8,379	1,661	866	10,907	—	10,907

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	機構部品	音響部品	複合部品 その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	348,757	14,817	11,443	375,018	—	375,018
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	348,757	14,817	11,443	375,018	—	375,018
セグメント利益	14,622	1,381	744	16,749	—	16,749

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの業績管理区分の一部変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントの区分として従来の「表示部品」を「複合部品その他」に含めて表示しております。また、当該変更に伴って一部製品のセグメント区分を見直しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項ありません。